

実践 鹿児島県立図書館ボランティアグループ「さざなみ」

1 はじめに

鹿児島県立図書館ボランティアグループ「さざなみ」は、平成12年4月県立図書館読書ボランティア講座修了生に県立図書館より呼びかけがあり、県内の図書館ボランティアの学びと交流の場として結成した。会員は、県立図書館読書ボランティア養成講座（現在、県立図書館ボランティア活動説明会）修了生である。県内各地の図書館ボランティアや読書に関心のある個人で図書館と利用者を結び付けるための児童奉仕部門のボランティアとして、月2回の定例会（県立図書館内）で学び合っている。

また、県立図書館内での「おはなしの時間」や県立図書館企画のイベントの受付・会場整理などの手伝いもしている。県内各地の図書館や会員の所属する各グループと協力し、子どもたちと本を結びつける読書の輪を広げるとともに、次の世代に繋げていくことを目的としている。

会員は年齢も20代から80代までと幅広く、県内各地の図書館ボランティア、読書ボランティア（学校・文庫・公民館・地域など）、図書館司書、個人など正会員27人である。毎月1回発行の「さざなみ通信」で定例会に参加出来なくても毎月の報告や読書に関する県内外の情報などを届けている。



ボランティア活動説明会の様子



イベントでの受付の様子

2 定例学習会

定例会は、第1水曜日が13時から15時まででわらべうた・絵本・児童書・ストーリーテリングなどの実践や理論などを学び合っている。15時半からの「おはなしのじかん」には、会員一人が加わり、実演をしている。

第3土曜日は、13時から14時までが学習会、14時から15時まで「土曜版おはなしのじかん」を担当させていただいている。定例会には会員の半数が集まる。「おはなしのじかん」には、乳児連れの方にはわらべうたや絵本の読み聞かせ、幼児から児童まではストーリーテリングを加え、参加者の方々が毎回楽しんでくださっている様子が伺える。

また、少しでも楽しんでいただけるように、ストーリーテリングの学習会を月に1回4時間、年1回は児童文学講座などに参加するなど、会員のほとんどが日々学んでいる。

その他、専門的な図書館学や児童文学、手法としてのブックトークやアニメーションなども教師や司書の方々と共に学び合っていると同時に、県内外の子どもの読書に関する講演会や研修会にも参加して、学び合ったことを会員同士で学習しながら、「さざなみ」独自で外部講師を招いての自主学習会も開催している。



ストーリーテリングの実演



「おはなしの時間スペシャル」での実演の様子

3 出前活動

県立図書館以外に図書館ボランティアグループ「さざなみ」の活動として学び合ったことを広げるために、要請により年間 100 日以上子育てグループ・支援センター・文庫・保育園・幼稚園・小学校・図書館・公民館・公共の施設・病院・児童センター・高齢者施設などで、ボランティア（無償）としておはなし会の出前活動をしている。また、会員は県内各地域の仲間たちと協力し合い幅広い読書活動を続けている。その他、要請により育児サークル・親子読書会・図書館などに読書指導の講師として会員を派遣している。

4 その他の活動

外部の方にも呼びかけ子どもの読書を広げるための活動もしている。

- ・平成 18 年子どもゆめ基金助成による「福岡語りの森」富原美智子さん他 2 人の「読書ボランティア講座とおはなし会」を開催（会場：かごしま近代文学館・メルヘン館・ボランティアセンター）
- ・平成 20 年 4 月 あきやただしさんの絵本ライブを開催（会場：県立図書館 桜の下）
- ・平成 21 年 8 月 24, 25, 26 日子どもゆめ基金助成による「細川律子さんの東北の昔語りと宮沢賢治の世界」を開催（会場：かごしま近代文学館メルヘン館・霧島市国分シビックセンター・始良図書館）
- ・毎年、九州各県持ち回りの昔話を楽しむ九州・沖縄交流会に参加（平成 23 年 11 月第 25 回昔話を楽しむ九州沖縄交流会奄美大会に 6 名実行委員として参加）
- ・平成 26 年 3 月 29, 30 日に子どもゆめ基金助成による「筒井悦子さんの子どものためのおはなし会と子どもの本とおはなしの講座」を開催。

5 おわりに

さざなみの輪は、小さくともいつかは大きな輪になっていけばいいなと、ゆっくりと積み重ねてきた。この小さな会が、平成 21 年 11 月、全国優良読書グループとして表彰され、平成 25 年 4 月には文部科学大臣賞という大きな御褒美をいただいた。これは私たちだけの力ではなく、いつも見守ってくださる県立図書館の職員の方々と、支援してくださるたくさんの地域の仲間たちのおかげと思う。児童奉仕の部門は、大人への読書に繋げていくための大切な過程である。本を手渡すこと、生きた言葉を手渡すこと、人と人との出会いの中で生涯学習として共に学び続けていくことで新しい何かが生まれると思う。これからも会員一同、図書館ボランティアとしての本来の目的と自己の向上のために、常に学び合い、高め合い、次の世代に見えない大切なものを手渡していきたいと思う。